

■ 環境衛生

管内の水道普及率は、全国、全道の普及率を上回っています。

一方、令和3年度の管内水洗化率は、91.8%で全道平均（96.2%）を下回っています。

また、令和3年度の管内のゴミの1日の一人当たりの排出量は966gで、リサイクル率は21.1%となっています。

過去3年間の傾向では、ごみの1日一人当たりの排出量は全国的には減少していますが、管内では増加傾向にあり、リサイクル率は全国的に横ばいの傾向にあります。

◆ごみの1日一人当たりの排出量（g）

	R1年度	R2年度	R3年度
全国	918	901	890
全道	960	949	941
空知管内	930	940	966

◆水道普及率（%）

	R1年度	R2年度	R3年度
全国	98.1	98.1	98.2
全道	98.1	98.2	98.3
空知管内	99.0	98.7	98.7

◆リサイクル率（%）

	R1年度	R2年度	R3年度
全国	19.9	20.0	19.9
全道	23.2	23.4	23.5
空知管内	22.7	21.7	21.1

（参考資料）「令和元年度北海道の水道」
「令和2年度北海道の水道」
「令和3年度北海道の水道」

（出典）一般廃棄物処理事業実態調査〔環境省〕

■ 住宅

管内の令和2年度の住宅着工戸数は917戸あり、そのうち持家は573戸で借家は344戸となっています。（令和2年度建築統計年報より）

また、管内の公営住宅管理戸数は、令和5年4月1日現在、道営住宅1,792戸、市町営住宅13,752戸となっています。（市町営住宅は、令和5年3月31日現在）

令和4年度における公営住宅の建設実績は、市町営住宅92戸であり、地域の森林資源を活用した木造公営住宅や、子供からお年寄りまで、全ての人々が安心して暮らせる住まいの実現を目指し、「ユニバーサルデザイン」の考え方を取り入れた公営住宅の整備を進めています。

■ 防災

管内は、石狩川水系の上流部から下流部に位置するため、過去に大雨等による大きな災害に見舞われており、近年では平成23年、平成24年、平成28年と浸水被害が連続して発生しました。

また、平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震では、三笠市・長沼町で震度5強、栗山町・由仁町・南幌町で震度5弱を観測し、重傷1名・軽傷5名、住家半壊3件・一部損壊94件が発生した他、全道域停電「ブラックアウト」により多くの道民生活に影響がでました。

令和4年度の雪による人的被害については、死者4名、重傷31名、軽傷63名となっており、発生原因は、雪下ろし・除雪が83名、落雪が13名となっています。

雪による被害状況（R4.11.1～R5.3.31）

人的被害		
死者	重傷	軽傷
4名	31名	63名
発生原因内訳		
雪下ろし・除雪	落雪	その他
83名	13名	2名

（地域政策課調べ）

■ 交通安全

令和4年における道内の交通事故の死者数は115人となり前年より5人減少しましたが、発生件数と傷者数は増加しました。なお、死者数は過去最少を更新しました。

管内の交通事故の死者数は11人となり前年より2人増加し、発生件数と傷者数ともに増加しました。

交通安全対策の推進に向けて、市町及び交通安全推進組織をはじめ関係機関・団体等、警察署と連携して、交通安全運動を中心に飲酒運転根絶の取組や街頭啓発等の交通安全活動を実施しています。

◆ 全道の交通事故発生状況

◆ 管内の交通事故発生状況

	H30	R元	R2	R3	R4		H30	R元	R2	R3	R4
発生件数	9,931	9,595	7,898	8,304	8,457	発生件数	454	391	315	398	415
死者数	141	152	144	120	115	死者数	14	11	8	9	11
傷者数	11,494	11,046	9,043	9,598	9,785	傷者数	556	478	404	477	497

（北海道環境生活部「交通事故統計分析表」）

■ 道路交通

全国で最も長い直線道路を有する国道12号をはじめ、管内の国道、道道、市町村道の路線実延長は、令和5年4月1日現在で8,238kmとなっており、全道の約9.2%を占めています。

管内の主要事業は、通行不能区間を解消し南空知地域と上川南部地域間の物流・観光・防災等に資する美唄富良野線の道路新設事業を行っており、平成27年3月に幌子トンネル（延長1.8km）が貫通、平成31年2月には東美唄トンネル（延長660m）も貫通し、令和5年度は道路工、法面工などを引き続き施工予定で、早期完成に向け工事を推進します。